

医療事務



あるあるネタ

- 「保険証ありますか？」が1日に50回は口から出る。
- レセプト期間になると“締め切り”の空気で院内の温度が2度下がる。
- 番号札を渡すだけなのに「なぜか怒られる」理不尽を経験済み。

初期の失敗

レセプト初挑戦のとき、入力ミスに気づかず返戻（へんれい）が発生。「患者さんに迷惑がかかる」ことの重さを痛感し、医療事務とは“裏の命綱”だと自覚しました。

職業病

病院に行くと他院の受付オペレーションを観察してしまい、「この電子カルテ、うちより見やすいな」と勝手に評価してしまう。あと、自分が診察受けるときも点数が気になる。

健康問題

長時間の座り作業による腰痛・肩こり・眼精疲労、また患者対応時のストレスによる緊張性頭痛や胃の不調もよく見られます。月末月初は特に疲労がピークに。

その職業に就いている人を讃える

あなたはまさに“病院の静かな司令塔”ですね。カルテの裏側で、保険と診療と信頼をつなぎ、患者さんの安心を数字とデータで支えるあなたの手は、見えない白衣をまとった縁の下の力持ち。ありがとうと言われることは少なくとも、あなたがいるから診療が成立する。その“計算”には、やさしさと責任が詰まっています。どうか、数字だけでなく自分の体調も“管理表”に入れて、これからも医療の静かな力でいてください。